

セルフマネジメントの活用

強みと弱みを引き出そう!

「セルフケア」ではなく「セルフマネジメント」
その理由とは?

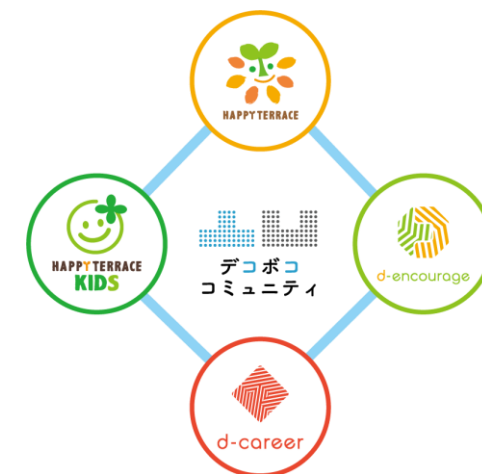
デコボコベース株式会社 ディーキャリアITエキスパート田町オフィス
鈴木 慧南・楯 海飛

事業紹介



デコボコベース株式会社は「凸凹が生きる社会を創る。」をビジョンに掲げ、2014年から放課後等デイサービス事業をフランチャイズとして展開開始。

親御様からの要望を受け、2016年に児童発達支援事業、就労移行支援事業、後に自立訓練事業も開始し、全国に232拠点を持つまでに成長した。



ディーキャリアでの支援事例



障害者雇用の場合、合理的配慮をいただける分、自己対処を求められることが多いが、その内容や効果は一概に言えないことが多い。

また、お一人おひとりの特性が異なるように、その方に必要な自己対処法も異なる。

ディーキャリアではセルフケアとして支援を提供していたが、今年より「セルフマネジメント」という形で「自己理解を深めるための特性の検証」と「その時の心身の状態に合わせて自ら行う自己対処(セルフケア)の実践力を向上させる」を同時に醸成していく訓練を提供している。



アピールポイント



今までのセルフケアでは、診断名由来の特性に対してアプローチをしてきたが、今回は異なる。就職活動時に自身の強み・弱みがわからない方も多く、言語化できるように改めて訓練内容を再構築した。診断名由来の特性以外も含めた強みと弱みを見つけることに焦点を当てているため、個人にフォーカスして未診断の方にも活用可能。

また、報告の際に自ら読み上げて報告することによって、自身の状態に対して自らがどのように対応するか、配慮してほしいか本人の意思を尊重し決定する仕組みをとっている。



成果・今後の展望



セルフマネジメント訓練導入の取り組みを「就労移行支援施設におけるセルフケアチェックの効果分析に関する研究」としてポスターにまとめ、第11回成人発達障害者支援学会の大阪大会にて、**優秀ポスター賞**を受賞した。

テキスト、指導案、研修作成し、年度内には全国約90拠点へ展開予定。今後、支援現場のみで終わらせるのではなく、就職後にも企業と本人に活用してもらう持続可能な仕組みにしたい。